平成 21 年度 第 107 回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成21年10月20日(火)13:30~15:05

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、伊藤外国語学部長、

白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、梶原国際環境工学部長、

漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、

晴山都市政策研究所長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、

木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、

上江洲地域貢献室副室長、大平評価室副室長

配布資料 1 教員採用選考報告書(経済学部)

- 2 特任研究員の選考について(国際環境工学部)
- 3 地域共生教育センター及び学生ボランティア事業について
- 4 平成 21 年度前期学友会交渉申入書回答案 (修正部分抜粋)
- 5 平成21年度ひびきのキャンパス秋季オープンキャンパスについて
- 6 地元企業との意見交換会への参加について
- 7-1 新聞記事(新型インフルエンザの追試対応)
- 7-2 新型インフルエンザ感染者リスト

第1号 教員の採用について

* 資料1のとおり、経済学部の国際経済担当の教員採用人事について、選考委員会から採用候補者(魏 芳氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

採用候補者の教歴に「助手」として記載されている。平成19年度に学校教育法が改正され「助手」が「助教と助手」に区分されたが、教歴の算定にあたっては、採用時点を重視して改正前の「助手」制度を基準に判断した。研究業績等からみて判断したものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。 【委員全員】(異議なし)

第2号 特任研究員の選考について

* 資料2のとおり、国際環境工学部における特任研究員2名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。 【委員全員】(異議なし)

第3号 地域共生教育センター及び学生ボランティア事業について

* 資料3のとおり、地域共生教育センター準備室の設置及び学生ボランティア事業の先行実施について提案。

「地域共生教育センター」の平成22年4月開設を目指す。同センターでは、本学のボランティア活動の窓口、支援、地域活動を通じた教育プログラム開発等を担う。

開設までの間、「地域共生教育センター準備室」を設置し、所要の準備を行うとともに、市教育委員会との協定事業「学生ボランティア事業」として、地域創生学群の学生派遣を先行して実施する。

同センターには、1名の専任教員を配置することとしている。国際環境工学部の3つの保留ポストのうち1つを全学的に活用し、このポストに充てることとしたい。また、この教員は地域創生学群の兼務とする予定である。

学生ボランティア事業の先行実施にあたり、学生の派遣形態を、週1回、原則1日、最低半日としているが、該当日の授業は公欠扱いとするのか。

派遣予定の学生には事前に指導を行い、授業を入れない日を週1日設けており、公欠は考えていない。また、単位化も考えておらず、学生には指導的立場から参加を勧めている。

なお、準備室では、このパイロットケースをみながら、ボランティア事業の単位化も含め、今後のあり方 を検討していくことにしている。

新規に採用する教員は、地域創生学群の授業科目を担当するのか。

地域創生学群の福祉分野の科目を担当できる人材を想定しており、他学部関連科目も含めて、どういった 形がよいのか、今後詰めていきたい。

全学的な観点から、同センターの開設準備を進めていく。現在、準備室委員となっていない学部・研究科からも委員の推薦をお願いしたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 平成21年度前期学友会交渉申入書回答(案)について

* 資料4のとおり、平成21年度前期学友会交渉申入れに対する回答案について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

平成 21 年度ひびきのキャンパス秋季オープンキャンパスの実施について、資料 5 のとおり報告があった。 地元企業との意見交換会 (インテグレート YAWATA の勉強会)への参加について、資料 6 のとおり報告があった。

本学の新型インフルエンザの発生状況について、資料 7-1・7-2 のとおり報告があった。

次回の審議会を11月10日(火)に開催する予定である旨、報告があった。